

## 基本目標4 生涯を通じた男女のこころとからだの健康支援

リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）を踏まえ、男女が互いの身体的性差を十分理解し合い、相手に対する思いやりを持てるよう情報提供や学習機会の充実を図ります。また、性的マイノリティ、性の多様性についての理解を深める取組を推進します。

### 施策の基本的方向・具体的施策・施策内容

#### 7 生涯を通じた男女の健康の保持・増進のための支援

##### (13) 女性の健康保持のための事業の充実

32	ライフサイクルを通じて男性とは異なる健康上の問題に直面することの重要性を、男性を含め社会全体が認識できるよう啓発や情報提供に努めます
33	妊娠・出産期における健康支援を充実します
34	乳がん、子宮がん検診の重要性について意識づけを行うとともに、検診を受けやすいよう環境整備に努めます

##### (14) 性差に応じた健康支援の推進

35	性差による疾病や症状等に対し、相談に応じるとともに医療機関等の情報提供を行います
36	男女それぞれが相談しやすい窓口の整備や情報提供に努めます

##### (15) 生涯にわたるスポーツ活動の推進

37	地域の中で男女がともに多世代でスポーツに親しめる環境を整備します
----	----------------------------------

##### (16) 食育の推進

38	男女がともに健全な食生活を営むための能力を育む支援をします
----	-------------------------------

#### 8 こころとからだの健康に関する学習機会と情報の提供

##### (17) リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）という考え方の浸透

39	多様な機会等を活用し、リプロダクティブ・ヘルス/ライツについての啓発に努めます
----	---

##### (18) 健康保持のための健康教育、健康相談等の推進

40	生涯を通じて、自分の健康は自分で適切に管理できるよう、正確な知識や情報を提供するとともに、教育・学習を推進します
41	高齢者がリフレッシュできる場とその情報を提供します

##### (19) 思春期におけるこころとからだの健康づくり

42	年齢に応じた性教育を推進します
43	子どもの成長の段階を踏まえ、思春期の人工妊娠中絶やH I V感染症を含む性感染症、薬物乱用、喫煙、飲酒等について正しい知識を身につけ、適切な行動がとれるよう、学習機会の提供や指導に努めます

##### (20) 性的マイノリティの理解推進と支援

44	学校教育や社会教育等において、性的マイノリティへの理解が進むよう学習機会を提供するとともに、様々な機会を活用して理解推進のための啓発活動を行います。また、トイレ等の環境の整備を図ります
----	--

## 施策の基本的方向7 生涯を通じた男女の健康の保持・増進のための支援

### (具体的施策 13) 女性の健康保持のための事業の充実

	施策内容	令和元年度の取り組み内容	取り組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
32	ライフサイクルを通じて男性とは異なる健康上の問題に直面することの重要性を、男性を含め社会全体が認識できるように啓発や情報提供に努めます	<p>広く市民等を対象に、男女共同参画に関する講座等を開催した。 〔実施講座名〕アンガーマネジメント講座 〔実施日〕4月～1月(月1回・全10回) 〔参加者〕のべ97人 〔実施講座名〕思春期教育講演会 〔実施日〕①令和元年11月27日 ②2月5日 〔参加者〕①48人②49人</p>	<p>アンガーマネジメント講座はこころの健康について考える講座であり、思春期教育講演会については、思春期のからだところの変化や課題を考える講演会である。どちらも、申込率・受講後の満足度ともに高い結果となっている。 今後も引き続き実施し、健康を考える機会を提供していく。</p>	継続	人権・男女共生課
		<p>妊娠期における家族の健康づくりについて、体験型の健康教育を実施した。 〔実施事業名〕健康づくりセミナー(パパ&amp;ママクラス) 〔実施回数〕6回 〔参加者〕978人</p>	<p>健康づくりセミナーについては、参加者に好評であり、ライフサイクルの変化を踏まえた健康づくりを行う動機付けが来ている。 参加者の年齢は40歳以下が大半を占めるため、若年期の早期から疾病予防に重要と考える。</p>	継続	保健医療課
		<p>女性に特有な健康課題についての啓発や情報提供に努めた。 〔事業実施名および実績〕 パパ&amp;ママクラス 496人 妊娠届出時及び妊婦健康診査受診券交付届時面接 2,612人</p>	<p>引き続き、事業実施時に女性に特有な健康課題の啓発資料の情報提供を行なう。</p>	継続	保健医療課
33	妊娠・出産期における健康支援を充実します	<p>母子健康手帳交付時面談時、保健指導を行った。両親教室(パパ&amp;ママクラス)、訪問や面接、電話等にて妊娠・出産期の健康課題について情報提供および指導を行った。 〔事業実施名および実績〕 パパ&amp;ママクラス 496人 妊娠届出時面接 2,404人 妊婦訪問指導 143人(延べ) 産婦訪問指導 739人(延べ)</p>	<p>妊娠・出産という健康上大きな節目に対し、様々な機会を通して情報提供および指導を行えた。妊娠を機に発症する高血圧や糖尿病等の病態に対しても、正しい知識をもち将来の生活習慣病発症を予防できるよう、今後とも支援していく。</p>	継続	保健医療課
34	乳がん、子宮がん検診の重要性について意識づけを行うとともに、検診を受けやすいよう環境整備に努めます	<p>市広報に同封する健診ガイドや健診チケット、受診勧奨はがき等の送付によって、意識づけの向上を図った。 また、レディース5がん検診や保育付き検診の実施など、引き続き受診しやすい環境整備に努めた。</p>	<p>市広報に同封する健診ガイドや健診チケット、受診勧奨はがきを送付した。また、レディース5がん検診や保育付き検診を実施しており、一定程度の環境は整備されてきている。 ただし、まだまだ保育付き検診における保育利用者数はそれほど多くないため、より多くの周知が必要である。</p>	継続	保健医療課

(具体的施策 14)性差に応じた健康支援の推進

	施策内容	令和元年度の取り組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
35	性差による疾病や症状等に対し、相談に応じるとともに医療機関等の情報提供を行います	性差による疾病や症状等に対し、相談や医療機関等の情報提供に努めた。医師・歯科医師による来所型の健康相談を実施した。 〔事業実施名〕 総合健康相談 〔実施回数・参加人数〕 6回15人	令和元年度の稼働率は、医師は50%（12人/24枠） 歯科医師は12.5%（3人/24枠）であった。今後、市民ニーズや費用対効果、包括的な相談支援体制等を考慮し、相談事業の効果的・効率的な実施について検討する。	縮小	保健医療課
36	男女それぞれが相談しやすい窓口の整備や情報提供に努めます	女性のための相談(電話・面接等)の充実を図った。 〔実施事業名〕 ローズWAM相談事業 〔事業内容〕 ①女性面接相談 ②女性電話相談 〔相談件数〕 ①552件②1,487件	相談件数は昨年と比較してほぼかわらない件数となっている。今後も引き続き実施していく。	継続	人権・男女共生課
		男性の電話相談を実施した。 〔実施事業名〕 ローズWAM相談事業 〔事業内容〕 男性性電話相談 〔相談件数〕 41件	相談件数は昨年の79%となっており、減少しているが、初めて相談したという新規の相談が増加傾向にある。今後も引き続き実施していく。	継続	人権・男女共生課

(具体的施策 15)生涯にわたるスポーツ活動の推進

	施策内容	令和元年度の取り組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
37	地域の中で男女がともに多世代でスポーツに親しめる環境を整備します	地域でのスポーツ活動に対して支援をした。 〔実施事業名〕 地区スポーツ・レクリエーション大会 〔実施地区〕 31地区 〔参加人数〕 29,710人 〔実施場所〕 市内各小学校運動場	参加者数が減少している。ポスターや広報誌で周知することで参加者を増やす。	継続	スポーツ推進課

(具体的施策 16)食育の推進

	施策内容	令和元年度の取り組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
38	男女がともに健全な食生活を営むための能力を育む支援をします	地域での健康イベントや出前講座等で食事バランス診断SATシステムを使用した食事バランス等のアドバイスを実施した。 〔事業実施名〕 ①健康づくりセミナー ②食育システム出前講座 ③食育啓発 〔実施回数・参加者〕 ① 6回418人 ②17回541人 ③ 5回1,057人	食育システム出前講座の参加者については、481人(約89%)が、小学校6年生における出前講座が占めている。地域からの依頼は少ない現状ではあるが、学校における食育と連携しながら、引き続き行っていく。	継続	保健医療課
		保育所等において食育年間計画を作成し、栄養士と連携しながら食育活動を進める。 保育所・幼稚園においては、園・所児が食べることを楽しみにできるように日々の生活の中で食にかかわる体験や栽培活動に取り組む。	保育所(園)・幼稚園・認定こども園において、食育活動を通して食材や調理方法に興味・関心を持つことができた。また食べる意欲につなげることができたので今後も日々の生活の中で食に関わる体験や栽培活動に取り組んでいく。	継続	保育幼稚園総務課

## 施策の基本的方向8 こころとからだの健康に関する学習機会と情報の提供

(具体的施策 17)リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)という考え方の浸透

	施策内容	令和元年度の取り組み内容	取り組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課										
39	多様な機会等を活用し、リプロダクティブ・ヘルス/ライツについての啓発に努めます	<p>保健医療課と連携し、デートDVや若年者の妊娠など思春期をとりまく性に関する勉強会を開催した。</p> <p>〔実施講座名〕思春期教育講演会 〔内 容〕①思春期のこころのからだ ②学校で配慮と支援が必要なLGBTsの子どもたち 〔実施日〕①令和元年11月27日 ②2月5日 〔参加者〕①48人②49人</p>	<p>定員に対しほぼ100%の申込があり、講座受講後の満足度も100%と高く、内容もおおむね評価の高いものであった。今後も関係機関と連携しながら学習の機会を設け、思春期教育に取り組んでいく。</p>	拡充	人権・男女共生課										
		<p>保健師等が妊産婦及び乳幼児の保護者に対する保健指導を通し、情報提供に努めた。また、不妊治療等の相談窓口についてホームページで周知・啓発した。</p> <p>〔実施事業名〕母子保健事業 〔実施件数〕</p> <table border="1"> <tr> <td>訪問指導</td> <td>5,198件</td> </tr> <tr> <td>面接指導</td> <td>900件</td> </tr> <tr> <td>電話指導</td> <td>7,449件</td> </tr> <tr> <td>特定不妊治療費助成</td> <td>126件</td> </tr> <tr> <td>不育症治療費助成</td> <td>9件</td> </tr> </table>	訪問指導	5,198件	面接指導	900件	電話指導	7,449件	特定不妊治療費助成	126件	不育症治療費助成	9件	<p>前年度と比較し、訪問指導、電話指導は減少しており、不育症治療費助成は横ばい、面接指導、特定不妊治療費助成はやや減少した。特に訪問指導が減少した要因として、新型コロナウイルス流行による影響もあると思われ、今後、支援体制の整備について検討する必要がある。</p>	継続	保健医療課
		訪問指導	5,198件												
面接指導	900件														
電話指導	7,449件														
特定不妊治療費助成	126件														
不育症治療費助成	9件														
<p>思春期保健の担い手である市保健師や小・中学校の教職員等が性の現状や性に関する取り組み等について学ぶ機会を設け、妊娠・出産の正しい知識の普及・啓発を行うことにより、思春期保健教育の推進を図る目的で講演会を開催した。</p> <p>〔事業実施名〕思春期保健事業講演会 〔対象者〕教職員等 〔講師〕宝塚大学看護学部 日高 庸晴教授 〔参加人数〕49人</p>	<p>関係機関と調整を行い実施することができた。啓発の機会を継続して設ける必要がある。</p>	継続	保健医療課												

(具体的施策 18)健康保持のための健康教育、健康相談等の推進

	施策内容	令和元年度の取り組み内容	取り組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
40	生涯を通じて、自分の健康は自分で適切に管理できるよう、正確な知識や情報を提供するとともに、教育・学習を推進します	<p>広く市民等を対象に、男女共同参画に関する講座等を開催した。</p> <p>〔実施講座名〕アンガーマネジメント講座 〔実施日〕4月～1月(月1回・全10回) 〔参加者〕のべ97人</p> <p>〔実施講座名〕ゆるやか女子ゼミナール(生きづらさを感じる女性対象講座) 〔実施日〕4月～2月(月1回・全11回) 〔参加者〕のべ62人</p>	<p>こころの健康について考える講座であり、申込率・受講後の満足度ともに高い結果となっている。今後も引き続き実施し、健康を考える機会を提供していく。</p>	継続	人権・男女共生課

40	生涯を通じて、自分の健康は自分で適切に管理できるよう、正確な知識や情報を提供するとともに、教育・学習を推進します	<p>様々な啓発活動の機会を利用し、健康管理等についての知識や情報の提供を実施した。</p> <p>〔事業実施名〕</p> <p>①健康づくりセミナー          パパ&amp;ママクラス          若年健康診査時健診時教育</p> <p>②健康づくり出前講座</p> <p>③禁煙相談</p> <p>④こころの相談室</p> <p>⑤栄養相談</p> <p>〔実施回数・参加者〕</p> <p>① 6回978人、13回301人</p> <p>②37回513人</p> <p>③28回519人</p> <p>④18回24人</p> <p>⑤18回28人</p>	<p>若年健診結果説明会を廃止し、新たに健康づくりセミナー（若年健康診査時健診時教育）を健診当日に行うことで、健診受診者（平日のみ）が健診後スムーズにセミナーに参加してもらうことが出来た。</p> <p>各種相談については、引き続き、市民が困った時に相談できる人・場を周知するとともに、面接(来所)での相談スタイル以外の手段を検討する必要がある。</p>	継続	保健医療課
		<p>食育や健康教育を推進するため、子どもの状況を把握し、媒体を用いてより具体的な教育を実践する。</p>	<p>引き続き、食育や健康教育を推進するため、子どもの状況を把握しつつ取り組み内容を検討する。</p>	継続	保育幼稚園総務課
		<p>食育や健康教育を推進した。</p>	<p>食育や健康教育を推進することで自分の健康について正確な知識や情報を提供することができた。</p>	継続	学校教育推進課
41	高齢者がリフレッシュできる場とその情報を提供します	<p>介護予防教室を開催した。</p> <p>①介護予防健康運動教室          〔実施回数〕 607回          〔参加者〕 12,876人</p> <p>②はつらつ教室等          〔実施回数〕 541回          〔参加者〕 8,784人</p>	<p>教室の開催により市民の介護予防に資するとともに、外出の機会の創出につながった。閉じこもりの防止は介護予防に効果的と言われており、引き続き実施に努める。</p> <p>※コロナウイルスの感染症予防のため、休止期間あり。</p>	継続	長寿介護課

(具体的施策 19) 思春期におけるこころとからだの健康づくり

	施策内容	令和元年度の取り組み内容	取り組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
42	年齢に応じた性教育を推進します	<p>健康診断や身体測定、保健指導等で自分の体を知り、場面や必要性に応じて、絵本やその他の教材を用いてその大切さに気付く機会を持つようにした。</p>	<p>健康診断や身体測定、保健指導等で自分の体を知り、教材を用いたことで、体の大切さに気付くことができた。</p>	継続	保育幼稚園総務課
		<p>人権教育授業プラン集パートⅡを配布し、児童・生徒の発達段階に応じた性教育を推進した。</p>	<p>児童・生徒の発達段階に応じた性教育を推進することができた。</p>	継続	学校教育推進課
43	子どもの成長の段階をふまえ、思春期の人工妊娠中絶やHIV感染症を含む性感染症、薬物乱用、喫煙、飲酒等について正しい知識を身につけ、適切な行動がとれるよう、学習機会の提供や指導に努めます	<p>小・中学校等と連携した思春期保健教育を実施した。</p> <p>〔事業実施名〕 思春期保健事業</p> <p>〔実施回数〕 小学校5校          中学校1校</p> <p>〔参加者〕 674人</p>	<p>関係課や大学等と連携を図り実施した教職員等への思春期教育勉強会を契機に、関係課と連携し実施することができた。</p> <p>継続的かつ効果的な実施及び連携について研究を行う必要がある。</p>	継続	保健医療課

43	子どもの成長の段階をふまえ、思春期の人工妊娠中絶やHIV感染症を含む性感染症、薬物乱用、喫煙、飲酒等について正しい知識を身につけ、適切な行動がとれるよう、学習機会の提供や指導に努めます	小・中学校における喫煙防止教育を支援するため、小中学に対して、教材貸出の形で、学校教育の支援を実施した。 〔事業実施名〕教材貸出 〔実施回数〕2回 〔対象者〕298人	将来、喫煙しない選択が出来るよう、タバコに関する正しい知識や社会環境の変化について情報提供を行なうなど、学校での教育に対する支援を行う。また、学校現場での防煙教育の現状を知り、教材の見直しや、効果的な指導方法などを共有していく。	継続	保健医療課
		スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携して、こころのケアを図った。	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、こころのケアをすることができた。	継続	学校教育推進課

(具体的施策 20) 性的マイノリティの理解推進と支援

	施策内容	令和元年度の取り組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
44	学校教育や社会教育等において、性的マイノリティへの理解が進むよう学習機会を提供するとともに、様々な機会を活用して理解推進のための啓発活動を行います。また、トイレ等の環境の整備を図ります	<p>セクシュアルマイノリティに関する講演会や講座などを開催した。 〔内 容〕男女共同参画週間記念上映会・講演会 映画 「愛と法」上映会 講演 多様な家族の在り方 ～弁護士夫婦のカラフルな毎日～ 〔実施日〕令和元年6月22日 〔参加人数〕163人</p> <p>〔内 容〕男女共同参画基礎講座 性の多様性とは 〔実施日〕令和元年7月5日 〔参加人数〕29人</p> <p>〔内 容〕WAMチャレンジ企画 LGBTからSOGIへ 〔実施日〕令和元年10月16日 〔参加人数〕31人</p> <p>〔内 容〕男女共同参画推進本部研修会 「性的マイノリティについて」 〔実施日〕令和元年12月13日 〔参加人数〕144人</p> <p>WAM通信でセクシュアルマイノリティに関する特集記事を掲載した。 WAM通信53号：11000部</p>	どの講座も参加申込者が多く、受講後の参加者の満足度がほぼ100%であり、市民の方のセクシュアルマイノリティへの関心や理解が高まっていることがうかがえる。今後もさまざまな主体と連携しながら、啓発や支援を検討していきたい。	拡充	人権・男女共生課
		セクシャルマイノリティに関する学習指導案を扱った「人権教育授業プラン集パートⅡ」の活用を促進した。	「人権教育学習プラン集パートⅡ」の活用については引き続き、市教育委員会が開催する研修の場で活用するように周知徹底を行う必要がある。	継続	学校教育推進課